

平成24年

8月号

〔572号〕



広報

かねやま



第三分団選抜チームの気迫のこもった操法
(消防操法両沼大会：記事9ページ)

明日へつなぐ。

平成23年7月29日、かつて経験したこともない洪水が町を襲いました。
その時、人は何を見てどのように行動したのか。
洪水の被害に遭われた方に当時の状況を伺いました。
また、被災時と1年が経過した現在の町の様子を写真で比較します。



ダム放流により崩落した法面の工事が継続中である



上田ダム直下（上田）



増水により崩落した陣場の工事箇所



本名ダム直下（本名）



土砂撤去のため多くのボランティアが入った神社は周りの土砂の撤去が進んでいる



伊夜彦神社付近（横田）

7・29の記憶

湯倉橋の轟音



柴田セツエさん（橋立）

7月29日は夕方6時頃避難しました。当初は貴重品と懐中電灯だけ持って、橋立ドライブインに向かいました。暫くして只見川の水位がさらに上昇したため、集落の人たちとJR只見線沿いにあるお宮に移動しました。印象的だったのは、午後10時頃自宅の様子を見に消防団員の方に付き添ってもらい戻った時、湯倉橋の方面で体が飛び上がるくらいの轟音が聞こえたことです。今考えると上流から流された砂利運搬船が橋に激突した瞬間だったのでしょう。

翌日、水位が下がり自宅に戻りました。家の中がめちゃめちゃで気持ちも落ち込みましたが、8月に入って家族のほか、ボランティアの方々が泥のかき出しなどで大勢来てくださり、大変助かりました。後日、その時いらした方で移動コーヒー店をやりながら全国を巡っているという方が訪ねてくださり、交流が現在でも続いているのがとても嬉しいです。

トンネルの中で



新国イワ子さん（西部）

午後3時半ごろ近所の人たちが川を見ると騒いでいました。外に出てみると、只見川沿いの畑の所まで水位が上がっているのが見えました。川沿いの家の人たちは午後4時には川向かいの高根沢に逃げました。時間が経つにつれ、高根沢でも水位が上がってきたので、午後7時頃JR只見線のトンネルに消防団の方々と一緒になって移動することになりました。高齢者の方や足が不自由な方がいたため、団員の方が背負ってくれました。トンネルの中は寒く、ゴツゴツしていて寝ることはできなかったです。

現在は家を修繕して、そのまま住んでいます。畑も当初は土砂が堆積しましたが、ボランティアや業者の方に撤去していただきました。土砂の中から大きなタイヤが出てきてとても驚きました。今回のように避難したのは生まれて初めてでしたが、災害のための日頃の備えは大切だと感じています。

まさかという油断



黒田 勇志さん（西谷）

7月29日はお葬式があったために他県へ出かけていました。当日の日中に出たのですが、只見川の水量を見ても、こんなに大変なことになるとは思いもよりませんでした。昭和44年の水害を教訓に川筋対策が立てられていたため、仮に水が上がっても畑か床下くらいで浸水は止まるものと考えていたのです。

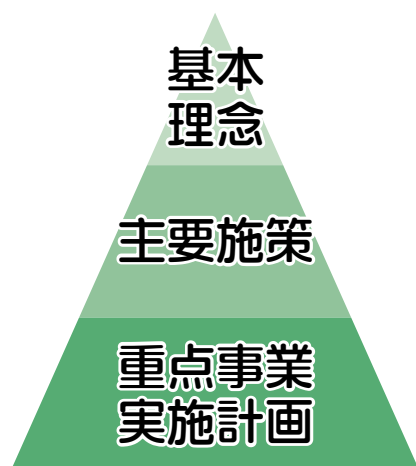
西谷地区が避難となっているという連絡を受け、お通夜を済ませてとんぼ帰りしました。当初は状況がはつきりしなかったのですが、柳津の道の駅まで来た時に、道の駅の駐車場が冠水していたので、その時に初めて今まで経験したことのない洪水だと感じました。

午前5時頃に西谷に戻ると、自宅の一階が水に浸かっているのが確認できました。水が引けて家の中に入った時は、どうやって片付けていったらいいか途方に暮れましたが、いろいろな方の助けをいただき、元の生活に戻ることができました。

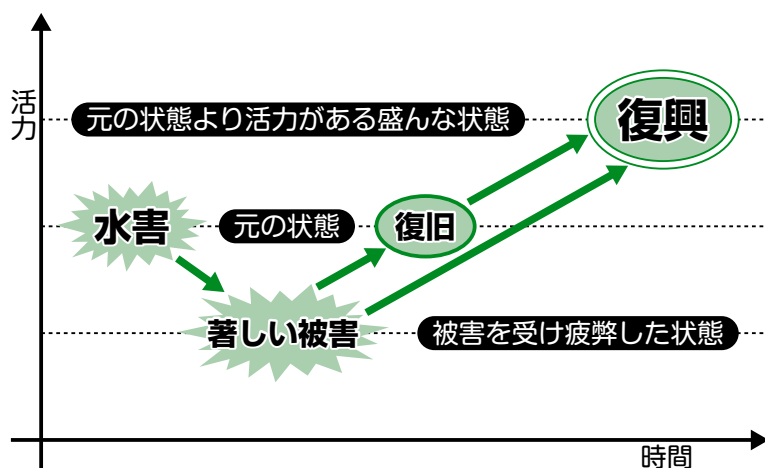
復興へ。新しい町づくり。

町では現在、新潟・福島豪雨災害からの復興計画を策定中です。
ここでは、復興へ向けた基本的な考え方や取り組みの方向を示す
「復興計画」の概要をお知らせします。

復興計画の構成のイメージ



用語のイメージ



※用語の定義 復旧…今回の水害で被害を受けたものをもとの状態に戻すこと。
復興…今回の水害で被害を受けたものを今まで以上に、または今までとは違った手法で盛んな状態にすること。

基本理念

安全で誇り高さふるさと金山町の創造を目指して…

1. 安全・安心な生活の再建による美しい町づくり
2. 地域資源の活用と地域産業の再生による元気な町づくり
3. 地域文化や風土の再興による支えあう町づくり

金山町の復興の実現を図るため、復興計画の基本理念に基づき、この計画を先導する3つの施策(目標)を設定し、事業の推進を図ります。

主要施策1：災害に強い安全で安心な生活の確保

- 被災を受けた方や高齢者の安定した生活の確保を図ります。
- 被災を受けた住宅、道路や鉄道、水道などのライフライン、生活を守る河川護岸など社会生活基盤の早期復旧に最優先で取り組みます。
- 住民の命と生活を守るため防災体制の強化をすすめ、災害に強いまちづくりを行います。
- 避難場所、避難所や避難通路などの防災機能の再構築と強化により、災害時における町民の安全、安心の確保を図ります。

主な検討中の事業

- 被災住宅取壊補助事業
- 高齢者共同住宅整備事業
- 洪水対策事業
- 住宅のかさ上げの早期実施
- 河川観測体制の強化
- ダム本体の改修
- 地域防災計画の見直し
- 緊急避難場所・避難通路の確保など

主要施策2：地域資源を生かした産業の振興による活力の向上

- 金山町の復興は、第1次産業である農業の復興なくしてありえません。町民の生活と地域経済を支える農業の再生を図ります。
- 町民の生活支援と町内商工業の復興のため継続して「妖精の里商品券」を発売します。
- 平成25年度オープン予定の「道の駅 かねやま（仮称）」を核として商業、観光、農業の振興を図ります。
- JR会津川口駅、中川農村公園、尾瀬街道横田宿（仮称）、沼沢湖周辺の整備を進め農業や観光の発展を目指します。

主な検討中の事業

- 農地災害復旧事業
- 道の駅を核とした地域農業活性化事業
- 商工業災害支援事業
- ヒメマスの復興事業
- 沼沢湖周辺整備事業
- 特産品・土産品の開発事業
- 再生可能エネルギー発電事業など

主要施策3：地域のきずな、地域の支えあいによる再生

- 防災教育の充実や地域コミュニティの育成により、防災意識の向上を図ると共に、災害時における地域力の強化を目指します。
- 今回の災害を風化させずに後世に残す取り組みとして、水害記録集を作成し次世代に伝承します。
- 被災者や住民の不安や悩みを解消するため、社会福祉協議会や民生委員、町保健師と連携し、見守り、訪問活動を強化し、きめ細やかな取り組みを行います。
- 災害で荒廃した只見川を再生し、川のある風景を誇れる町にします。

主な検討中の事業

- 防災教育の充実
- 保健・医療・福祉の充実
- 川のある町再生事業
- まちづくり事業の推進
- 地区温泉活性化事業など

●●● 豪雨災害関連トピックス ●●●

JR只見線の復旧を願い 要望書の提出

7月18日、JR只見線の早期復旧を願い、県知事・県議会議長・東日本旅客鉄道仙台支社長の三者あてに、町長、商工会長他五団体の長の連名で要望書を提出しました。要望書には町内の1,991名と町外の173名、合せて2,164名の要望署名も添付されました。

要望を受けた東日本旅客鉄道福島支店の里美支店長からは「要望は真摯に受けとめます」との話がありました。



JR東日本福島支店長に要望書を提出する長谷川町長

安全祈願祭が行われる

7月30日、開発センターで町内外の関係者、電気事業者など約80名が参加し、二度と豪雨災害が起きないことを願うとともに、今後の復旧・復興工事の安全を願い安全祈願祭が行われました。

祈願祭では発起人代表の長谷川町長をはじめ、各界の代表者らによる玉串奉奠^{たまぐしほうてん}が行われ、参加者は工事の無事を祈りました。



拝礼する区長協議会会長の菅家英志さん



佐原十郎義連の大蛇退治伝説を湖上で再現



妖精の絵コンテストの入賞者たち

沼沢湖水まつり

2年ぶりの開催となった沼沢湖水まつり。8月4日、5日にかけて行われ、約1万4千人が来場しました。ボランティアに支えられ、盛り上がりを見せた二日間をお伝えします。



人気を集めた和舟・カヌー試乗会



ライフジャケットを着せるボランティア



ろうそくの絵付けに挑戦中



夜空を彩る花火



花火とともに大蛇現る！



鴻巣市から花の出店



ゴールまでたどり着けるかな？



にぎわった魚つかみ体験



羽生市の旭町お囃子保存会による太鼓演奏と踊り



イカダレースに参加した川高生



聴衆を魅了したコンサート



迫力ある「和太鼓サークルばんぽこ」の演奏

「民家の甲子園」特別賞受賞 川口高等学校総合文化部美術班



受賞報告に訪れた川口高校総合文化部美術班の皆さん

話題の 散歩道

高校生が古民家の写真を通し古里の良さを発信する「民家の甲子園」で特別賞・福島民報社賞を受賞した川口高校総合文化部美術班の須佐あかねさん(大塩)、齋藤りなさん(会津美里町)、上野愛理さん(会津若松市)が役場を訪れ、長谷川町長に受賞の報告をしました。

最優秀個人賞も受賞した須佐あかねさんは「町の風景は見慣れているのですが、カメラのファインダーを通して見ることで、普段感じる事ができない世界を発見できた」と話しました。美術班の3名は来春卒業しますが、卒業した後も趣味として美術は続けるそうです。

蒲生岳の頂をめざして

7月22日、中央公民館主催による町民登山が行われ、曇り空の下を参加者22人は只見町にある標高828メートルの蒲生岳をめざしました。

標高が低いながらも、急勾配が多い蒲生岳は樹林の中に設置された固定ロープと岩場に設置されたクサリを使いながら登ります。小学生の児童たちも参加していたので、要所要所で安全に気を配り声をかける光景が見られました。

山頂にたどり着く頃には、雲もなくなり、横田地区の集落も山頂から見ることができました。皆さんも来年はご家族で参加してみたいはいかがでしょうか。



蒲生岳山頂をめざす参加者

夏真っ盛りの金山を体験 ふくしま子ども元気村

7月20日～22日、『ふくしま子ども元気村』が開催されました。NPO法人ソーシャル・ファームかねやま主催のこの企画では、川口高校生のボランティアをはじめ、町内外の有志の方々の協力を得て二泊三日の宿泊体験学習を行い、中通りの親子11組35名が参加しました。



そば打ちに挑戦する子どもたち



沼沢湖でカヌーを楽しむ参加者

今回は奥会津カヌー倶楽部の指導のもと沼沢湖でカヌーに乗るなどの屋外活動のほか、福沢在住の渡部新易さんが所属する『大島そば同好会』(郡山市)が、二日間にわたって絶品の手打ちそばを振る舞い、22日は参加者もそば打ちの体験をしました。

両沼西部三町村小学校 体育交流会が行われる



力泳する児童たち

7月24日、金山小学校で金山、三島、昭和各村の5、6年生児童による水泳の体育交流会が行われました。

開会式では、横田小学校の篠崎校長が「地域の未来を担う3町村4校の児童が一堂に集い、他校児童と競い合い自らの記録の向上を目指して競技することは大変意義のあることです。選手の皆さんは自己ベスト更新を目指してください」と挨拶しました。選手代表で横田小学校6年の菅家飛保さん(滝沢)が「練習した成果を充分に発揮し、最後まであきらめずに泳ぎます」と力強く宣誓しました。児童たちは父兄の応援を受けて、懸命に泳ぎました。

「安全運転を心掛けて」 児童が交通安全を呼びかける

7月25日、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動期間中に金山小学校、横田小学校の児童による交通安全広報が行われました。高学年生は町内を巡回しながら広報車により交通安全を呼びかけ、低学年生は警察官の制服を着用しパトカーに乗って、町内事業所等を回りました。



事業所を訪れた横小児童たち



川口保育所で交通安全を呼びかける金小児童たち

※協力してくれた児童たち※

○金山小学校

大竹 涼二 (2学年)・目黒 彩恵 (2学年)
中丸 未結 (6学年)・栗田 爽 (6学年)

○横田小学校

渡部 有沙 (2学年)・佐藤 晴揮 (3学年)
大西 雅 (5学年)・長谷川 馨 (6学年)

消防操法大会両沼地方予選会に出場



川口班によるポンプ車操法

7月29日、会津坂下町で福島県消防操法大会両沼地方予選会が開催されました。町からは、ポンプ車操法の部に川口班が、小型ポンプ操法の部に第三分団選抜チームがそれぞれ出場しました。

大会では両チームとも入賞を逃しましたが、練習で培った技能は今後の消防活動の糧となることでしょう。

出場選手 (敬称略)

	川口班チーム	第三分団選抜チーム
指揮者	栗城新太郎	五ノ井泰範
一番員	栗田 健司	五ノ井和博
二番員	長谷川 誠	長谷川清尚
三番員	若林 博志	星 浩司
四番員	目黒 賢治	—
補 欠	長谷川義一	加藤 拓

お知らせ

今月の納税

- 町・県民税
 - 後期高齢者医療保険料
 - 保育料
- 2期分
1期分
8月分

納期限は
8月31日です

納め忘れに
ご注意ください

叙 勲

山内映雄さんへ
旭日単光章



勲記を受ける山内さん

山内映雄さん(横田)への
高齢者叙勲(旭日単光章)
伝達式が7月9日に行われ
ました。

山内さんは昭和38年12月
金山町議会議員として当選
以来、昭和54年12月までの
4期16年間にわたり在職し、
金山町議会厚生文教常任委
員会委員長等を歴任し、地
方自治の確立と民主政治の

案 内

御神楽館で人形劇開催



実現のため指導力を発揮し、
地域住民の要望に応じて、
住民生活及び福祉の向上に
貢献されました。

人形劇の公演が次のとお
り行われます。愉快な大ど
ろぼうが巻き起こすユーモ
アとサスペンスあふれる物
語です。小中学生が鑑賞し
ますが、一般の方も無料で
入場できますので、ご来場
ください。

日時

9月18日(火)
午前10時～午前11時30分

会場

御神楽館

作品

人形劇「大どろぼう ホッ
ペンプロッツ」(90分)

問い合わせ：教育委員会

☎ 54-5333

ハチ防護服の貸し出し

町では、ハチの駆除作業
の際に着用し、ハチから身
を守る防護服(ネットつき
ヘルメット、つなぎ、手袋、
長靴)の貸出をしています。
防護服は、役場本庁と横田
出張所に一式ずつ備えられ
ていますので、電話で確認
のうえご利用ください。な
お、防護服を着用してい
ても作業時は十分に注意し
てください。

問い合わせ：保健福祉係

☎ 54-5135

横田出張所

☎ 56-4111



農地の転用には 許可が必要です

農地は国民の大切な食糧
を生産する基盤です。未来
に受け継ぐかけがえのない
農地を守るために農地の転
用については、許可又は届
出が必要です。

農地の転用とは、農地を
宅地、道路、駐車場、山林
など農地以外の用途に転換
することです。また、農地
を一時的に資材置場、砂利
採取場などにする場合も農
地の転用となります。

農地法の許可を受けない
で農地を転用した場合や、
転用許可に係る事業計画ど
おりに転用していない場合
は、農地法に違反すること
となり、工事の中止や現状
回復等の命令がなされる場
合があります。

問い合わせ

農業委員会事務局

☎ 54-5321

これからの予定

★8月★

15日(水)

金山町成人式

22日(水)

午前10時～開発センター

23日(木)

午前9時～開発センター

膝・腰予防教室

午前9時30分～

24日(金)

乳幼児・1.6歳・2歳児健診

午後1時～ ゆつゆう館

26日(日)

第1回金山町長杯金山町

グラウンドゴルフ大会

午前8時30分～

中川グラウンド

★9月★

2日(日)

会津地方防災訓練

午前8時30分～

金山町役場周辺

7日(金)

行政相談

午前10時～ 金山町役場

13日(木)

はいはいクラブ

午前9時30分～

ゆつゆう館

有害鳥獣防護柵(電気柵)の設置に補助

町では有害鳥獣による農作物の被害を防止、軽減するために防護柵(電気柵)を設置する世帯に対して助成します。

▼助成額

設置費用の2分の1

※限度額は15,000円

◎問い合わせ：農林振興係
☎ 54-5321

注 意

クマが出没しています

町内においてクマの目撃情報が多数寄せられています。被害を防止するために次のことに注意しましょう。

▼入山する時の注意

・鈴、笛、ラジオなどで音を出しながら行動し、クマに自分の存在を知らせましょう。

・明け方、夕方の入山は避けましょう。

・子グマを見たら近くに母グマがいる可能性があるため、そっと立ち去りましょう。

▼日頃の注意

・人家の周辺にクマのエサとなる残飯や米ぬかなどを放置しないようにしましょう。

・クマは体を隠しながら移動します。畑などの周辺の刈り払いをしましょう。

◎問い合わせ：農林振興係
☎ 54-5321

節水にご協力を

夏は水道水が不足する恐れがあります。水道の開閉はこまめに行う、水道水での洗車は控えるなどして節水を心掛けましょう。

◎問い合わせ：上下水道係
☎ 54-5315

募 集

平成24年度自衛官募集

自衛隊では、平成24年度自衛官等を次のとおり募集します。

▼募集職種

- ① 一般曹候補生
- ② 自衛官候補生(男子)
- ③ 自衛官候補生(女子)
- ④ 航空学生

▼対象年齢

①・②・③の対象年齢
18歳以上27歳未満

④の対象年齢

高等学校卒業(見込含)

21歳未満

▼受付期間

8月1日～9月7日

詳細については、次にお問い合わせください。

◎自衛隊福島地方協力本部
会津若松出張所
☎ 0242-2716724

ご寄付に感謝

一般寄付金

● 山内映雄さん(横田)から20万円

ご寄付は福祉行政や豪雨災害復旧に活用させていただきます。

ふるさと応援寄付金

● 渡部きよ子さん(会津坂下町)から4万円

● 若林純一さん(オランダ・マーストリヒト市)から5万円

● 千葉県松戸市の橋本光五郎さんから3万円

● 匿名希望の方2名から14万円

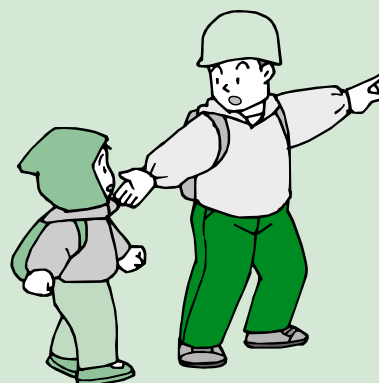
ご寄付は金山町の地域活性化などの事業に活用させていただきます。

会津地方防災訓練を実施します

平成24年度は金山町が開催地になり、福島県会津地方防災訓練が実施されます。会津地方における総合的な防災体制の一層の充実強化と住民の防災意識の高揚、災害対応力の向上を図ることを目的とする訓練です。皆さまのご協力をお願いします。

- ▶ 実施日 平成24年9月2日(日)
- ▶ 時間 午前8時30分～
- ▶ 場所 金山町役場周辺
- ▶ 内容 住民、小・中学生による避難訓練
消防団員による中継送水訓練
婦人消防クラブ員による消火栓放水訓練
ヘリコプター・梯子車による救助活動
赤十字奉仕団、自衛隊による炊き出し訓練など

◎問い合わせ…総務係 ☎ 54-5215



町内各地区の放射線量

町が独自に行っている、各地区の空間放射線量についてお知らせします。

※測定結果は天候や風向きなどの気象条件により変動しますので、数値については目安としてご覧ください。

測定地点：各地区集会所

(単位：マイクロシーベルト／時間 地上1mの高さで測定)

地区名	測定日	5月18日	6月25日	7月23日	地区名	測定日	5月18日	6月25日	7月23日	地区名	測定日	5月18日	6月25日	7月23日
川口		0.100	0.098	0.122	上田		0.094	0.080	0.098	横田		0.106	0.106	0.096
小栗山		0.114	0.120	0.140	水沼		0.134	0.152	0.170	上横田		0.118	0.118	0.108
八町		0.114	0.116	0.124	上大牧		0.104	0.104	0.102	土倉		0.070	0.074	0.088
玉梨		0.158	0.146	0.124	下大牧		0.110	0.106	0.102	西部		0.086	0.086	0.084
西谷		0.104	0.102	0.110	高倉		0.108	0.108	0.108	大塩		0.088	0.082	0.088
本名		0.118	0.120	0.114	大栗山		0.108	0.082	0.090	滝沢		0.098	0.088	0.092
橋立		0.136	0.130	0.122	福沢		0.122	0.114	0.126	田沢		0.074	0.072	0.078
大志		0.110	0.098	0.090	三更		0.128	0.110	0.118	山入1		0.104	0.106	0.104
板下		0.080	0.078	0.076	沼沢		0.228	0.196	0.202	山入2		0.132	0.122	0.116
宮崎		0.090	0.096	0.092	太郎布		0.112	0.108	0.120	越川		0.096	0.100	0.108

水道水の放射性物質検査結果について

金山町では定期的に町水道の放射性物質モニタリング検査をしています。

7月25日現在で町内水道水から放射性セシウムは検出されていません。

【参考】国が定めた基準値
放射性セシウム（飲料水）
10ベクレル／kg

◎問い合わせ…上下水道係
☎54-5315

自家消費食品等の放射性物質簡易測定の結果について

複数の検体を測定している場合は最低値と最高値を表示しています。

(測定年月日 平成24年6月30日～7月25日)

※「ND」は、10ベクレル/kg未満です。(単位：ベクレル/kg)

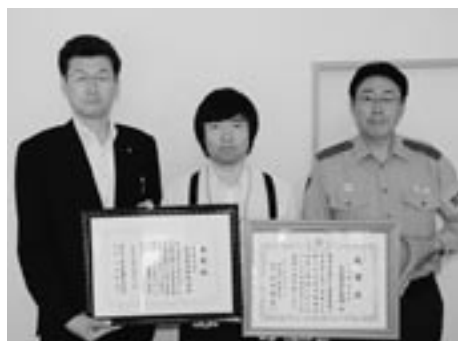
品名	測定件数	未検出数	セシウム (134+137 合計値)	品名	検体数	未検出数	セシウム (134+137 合計値)
精白米	1	1	ND	キュウリ	1	1	ND
飲料水	3	3	ND	キュウリの塩粕漬け	1	1	ND
イワナ	3	0	10.5～13.3	ワラビ	3	2	ND～22.7

町では自家消費の食品等について放射線測定をおこなっています。
測定を希望される方は、保健福祉係へ事前予約が必要です。

8月20日から横田出張所にも自家消費食品等の放射性物質簡易測定器を設置しました。

測定を希望される方は、横田出張所へご連絡ください。

◎問い合わせ…保健福祉係 ☎54-5135
横田出張所 ☎56-4111



(写真左より)会津坂下地区金融機関防犯協会長の目黒寛己さん、本名簡易郵便局長の黒田靖之さん、会津坂下警察署長の山口慎吾さん

7月に振り込め詐欺被害を未然に防いだとして7月31日、本名簡易郵便局に対して会津坂下警察署長から感謝状、会津坂下地区金融機関防犯協会から表彰状が同郵便局内で贈呈されました。

郵便局長の黒田靖之さんは当時を振り返り「来られたお客様は、子どもが事故を起こしたから振り込めたいと言って多額の現金を持っていらつしやうた。何かおかしいと思い、駐在所に連絡をした。事件を未然に防ぐことができてうれしい」と気持ちを述べました。贈呈に訪れた会津坂下警察署長山口慎吾警視は、「会津管内でも振り込め詐欺は起こっています。住民の皆さんにも明日は我が身だと思って注意してほしいと思います」と話しました。

会津坂下警察署からのお知らせ
～振り込め詐欺を未然に防ぐ～
本名簡易郵便局に感謝状

☆新書紹介

一般書 見てすぐ出来る！結び方・しぼり方 / (青春出版社)

からまない「イヤホンコードの結び方」、マラソン向きの「靴紐の結び方」、ガーデニングの「茎と支柱のしぼり方」、子どもが喜ぶ「ヘアリボンの結び方」など普段の暮らしがもっと便利にすてきに変わる結び方しぼり方をその道のプロが伝授します。

一般書 日本人の知らない日本語3 祝！卒業編 / 蛇蔵 著 (メディアファクトリー)

大ベストセラー日本人の知らない日本語最新刊！笑って学べる日本語コミックエッセイはついに第三弾！今回は祝卒業編。

児童書 大笑い！狂言えほん / もとしたいづみ 著 (講談社)

野村萬斎氏推薦！絵本で楽しく狂言「あおげ、あおげ」で教科書でもおなじみの「ぶす」がわかりやすく楽しい絵本になりました。気軽に読むだけで伝統芸能の魅力に触れることができます。

☆県立図書館あづま号 の本の紹介

おうちでエステ / 北原正江 著 (高橋書店)

メタボリックシンドロームを治す知恵とコツ / (主婦の友社)

うつなこころを強くするブログの力 / 野口 敬 著 (明日香出版社)

◆図書館の利用状況をお知らせします (7月分)

月間貸出冊数 78冊 (うち児童書 22冊) でした。

～お一人様3冊まで、貸出期間は2週間です。土曜日も利用できます～

お問い合わせ 金山町中央公民館 ☎54-5333

あの人この人

7月届出 (敬称略)

こんにちは赤ちゃん

伊藤 輝 (父・伊藤 敬 (大塩)
母・美保)

お二人で幸せに

今月は該当がありませんでした。

霊よ安らかに

渡 部 義 博 (91歳) 大 塩
横 田 サダ子 (77歳) 横 田
横 田 文 彌 (86歳) 越 川
坂 内 芳 夫 (96歳) 玉 梨
滝 沢 力 子 (99歳) 山入二

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口 (8月1日現在)

世 帯 数	1,112世帯	(- 4)
人 口	2,448人	(- 8)
男	1,163人	(- 3)
女	1,285人	(- 5)

※()内は先月比 住民基本台帳から

熱中症は予防が大切です！

熱中症は、気温がそれほど高くない日でも、湿度が高く風の弱い日や、体が暑さに慣れていない時にも発症しやすいものです。めまいや、大量の発汗など、重症になると意識障害などが起こります。熱中症にならないために、以下の点に注意しましょう。

〈熱中症の予防法〉

- こまめな水分・塩分の補給を行いましょう。
- 扇風機やエアコンを上手に使い部屋を涼しくしましょう。
- 外出する時は、日傘や帽子を着用し、なるべく涼しい時間帯にしましょう。

〈応急処置〉

- 涼しい場所へ避難しましょう。
- 衣服をゆるめたり、体を冷やしましょう。(わきの下や、首、太ものつけねなど)
- 水分・塩分を補給しましょう。



一人ひとりが周囲の人に気を配り、熱中症の予防を呼びかけ合うことで発生を防ぐことができます。まわりで協力して、熱中症を予防しましょう。

◎問い合わせ…保健福祉係
☎54-5135

おじゃまします

美しいハーモニーを求めて

川口高校

総合文化部音楽班



総合文化部音楽班の遠藤さん(右)と加藤さん

今月は7月に三島町で行われたベルギー王立カンターテ・ドミノ少年合唱団のコンサートに出演した川口高校総合文化部音楽班の加藤史子さん(大栗山)、遠藤早百合さん(西谷)に音楽活動と10月に行われる同合唱団との欧州遠征について意気込みを伺いました。

音楽に対する思い

「私たち音楽班は、昨年はトランペットをやっていたのですが、顧問の先生が変わったことで今年から合唱をやることになったのです。私たちは中学校の時、合唱をやっていた二人とも歌が好きだったので、合唱がきてうれしい」と加藤さんは音楽班について説明します。毎年の活動内容が変わることについて遠藤さんは「トランペットにはトランペットの面白さがあるし、歌には歌の面白さがあるので、どちらも楽しい」と話します。

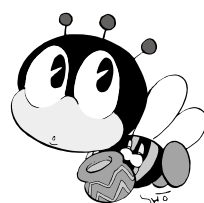
欧州遠征について

二人はこの秋にカンター



顧問の石川先生指導の下、練習に励んでいます

テ・ドミノと共にポルトガルとスロベニアで公演します。加藤さんは公演について「現在、川高が分校になるかもしれないという問題がありますが、秋の欧州公演を通じて小規模校でも頑張っているというメッセージを伝えたい」と話し、遠藤さんは「金山町は昨年水害に遭い、福島県も東日本大震災以降大きな問題を抱えているので、歌を通して福島県の復興を後押ししたい」と決意を述べました。二人は顧問の石川先生指導の下、欧州公演のためにバツハやモーツァルトの宗教曲に挑戦しています。



生涯学習のマスコット
マナビィくん

読書の力

その先にある力を信じて

読み聞かせ会開催

読書は「人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」と言われています。子どもと読書を結び付けるために様々な取り組みがなされているところですが、その一つとして『読み聞かせ』があります。

今年度、教育委員会では、読み聞かせのボランティアを各小学校や放課後子ども教室に派遣し、子どもたちに絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇を行っています。読み聞かせが始まると子どもたちは真剣に耳を傾け、やがて絵本の世界に引き込まれていきます。「大好きな絵本の世界を自分なりの表現で伝えることが好きなんです」とボランティアの佐藤智香子さん(本名)は話し

ます。

ポイントを押さえた読み聞かせは子どもをひきつけます。読み聞かせの技術を学びたい方のために、9月に会津若松市で『子ども読書活動推進研修講座』が開催されます。興味のある方はご連絡ください。

中央公民館 ☎ 5415360



横田小学校「読み聞かせ会」

生涯学習
だより

179